

防災士って！なに？

“自助” “共助” “協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、その為の十分な一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認定した「民間資格」です。

災害時“公助”の機能発揮には概ね3日かかると言います。それまでの期間、地域の防災リーダーがキーパーソンとなります。ボランティアとともに互助・協働活動を防災士が牽引役として、避難・救助・避難所運営に活躍を期待されています。

平時は地域の防災啓発活動に当たるほか、防災訓練に参加し求められる場合には防災計画の立案等にも参画します。

NPO 法人日本防災士会に所属し、全国の仲間とともに防災・減災に取り組んでいます。

NPO 法人日本防災士会 京都府支部 活動報告

平成27年7月設立 団体としての活動実績がありませんが、既に所属する団体や有志が集まり防災・減災活動を行っています。



平成26年度京都市総合防災訓練の様子